

DX 推進の取り組み

株式会社備州電設（以下、「当社」という。）は、電気設備工事において DX 推進に取り組んでおります。

DX 推進により、業務やサービスのあり方そのものを見直し、新たな企業価値を創出することを目指します。

代表取締役 浜辺 浩二

○ DX 戦略

I. 経営ビジョン



DX により革新的な業務効率の向上を実現し、新規顧客層の獲得及び既存顧客への新たな価値提供を図る。

II. 戦略概要



・電気工事のデジタル化

電気工事に係る作業をデジタル化することで、業務全般の効率の向上を図ることができる。工数の削減や情報共有の効率化により、年間に実施できる業務量を大幅に増やせるため、経営ビジョンに掲げた新規顧客層の獲得も実現可能となる。



・デジタルデータの活用

電気工事のデジタル化によって蓄積したデータについて、傾向分析することにより、業務改善や顧客ごとの最適な提案を行うことができ、顧客への新たな価値提供を図る。

1

○ DX 推進の指標



・案件別のデータ活用件数



・案件別の工数削減率



・データ活用の分析結果を活用した提案数

○ DX 推進体制

・組織体制



社内で取得したデータを共有・活用し、業務改善につなげるための情報共有・検討を行う。必要に応じて外部研修等を活用し IT データ活用に関する知識やスキルの向上を図る。

・環境整備



電気工事に関するデータをシステム上で管理し、社内に必要な情報を共有・閲覧できる環境を整備している。これにより、業務情報の共有及びデータ活用を推進する。

2



情報セキュリティ基本方針

株式会社備州電設（以下、当社）は、当社の情報資産を事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、以下の方針に基づき全社で情報セキュリティに取り組みます。

1



経営者の責任

当社は、経営者主導で組織的かつ継続的に情報セキュリティの改善・向上に努めます。

2



社内体制の整備

当社は、情報セキュリティの維持及び改善のために担当者を定め、情報セキュリティ対策を社内の正式な規則として定めます。

3



従業員の取組み

当社の従業員は、情報セキュリティのために必要とされる知識、技術を習得し、情報セキュリティへの取り組みを確かなものにします。

4



法令及び契約上の要求事項の遵守

当社は、情報セキュリティに関わる法令、規制、規範、契約上の義務を遵守するとともに、お客様の期待に応えます。

5



違反及び事故への対応

当社は、情報セキュリティに関わる法令違反、契約違反及び事故が発生した場合には適切に対処し、再発防止に努めます。

制定日：2026 年 8 月 25 日

株式会社備州電設
代表取締役 浜辺 浩二

3